

国際連携研究教育局ピーター・ジョーダン教授らの研究が 国際学術誌「Antiquity」の Ben Cullen Prize 2024 を受賞

【賞の概要】

Ben Cullen Prize は、考古学にとって最も重要で世界をリードする権威ある査読付き学術誌「Antiquity」に掲載された研究論文のうち、考古学分野における卓越した業績に対して Antiquity の編集諮問委員会、理事会、評議員会が毎年授与する二つの賞のうちの一つです。将来を嘱望されていた若い考古学者でしたが、不慮の死を遂げた Ben Cullen（ベン・カレン）に敬意を表して、1996 年に創設されました。「Antiquity」は 1927 年に O.G.S.クロフォードによって創刊され、現在はダラム大学考古学学部で編集され、ケンブリッジ大学出版局（CUP）と提携して年 6 回発行されています。

Antiquity ウェブサイト <https://antiquity.ac.uk/about>

受賞者紹介ウェブサイト <https://antiquity.ac.uk/open/prizes>

【受賞内容】

研究課題 “Disaster, survival and recovery: the resettlement of Tanegashima Island following the Kikai-Akahoya ‘super-eruption’, 7.3ka cal BP”（災害、生存、復興：紀元前 7.3 千年の喜界アカホヤ『超巨大噴火』後の種子島の再定住）

受賞者 ピーター・ジョーダン（北海道大学国際連携研究教育局 教授）他 7 名の共著者

受賞発表 令和 6 年 6 月 11 日（火）発行の Antiquity に掲載

【受賞理由】

ピーター・ジョーダン教授らの国際研究チームによる、マルチ・プロキシ・アプローチを駆使したホロシーン期最大級の火山噴火の影響に関する研究結果が、過去の自然災害による社会への影響に関する従来の考古学者の考え方を大きく変えるものであったため、その考古学分野への貢献が認められ、受賞に至ったものです。

【論文の概要】

この論文では、火山の「超巨大噴火」が南日本沿岸の島々に住んでいた先史時代の縄文人に与えた影響を考察しています。

先史時代、日本の南の島々は狩猟採集民によって占有され、豊かな生態系の中で繁栄していました。しかし、7,300 年前に水中の喜界カルデラが噴火し、「喜界アカホヤ超巨大噴火」として知られる大規模な火山活動が発生し、この噴火により、日本最南端の主要な島である九州の南に位置する種子島の人々の生活は壊滅し、島は何世紀にもわたって無人となりましたが、最終的には再び人々が定住するように

なりました。

考古学者は通常、自然災害の影響をコミュニティが消滅したか生き残ったかに基づいて「崩壊」と「回復力」という観点で考察します。しかし、この研究は、社会が壊滅的な火山噴火に対応していく過程の変化が、これらのモデルのどちらにも当てはまらないことを示しています。

著者たちは、大規模な火山活動が狩猟採集民のコミュニティに与えた影響を調べるため、噴火前後の種子島での生活を復元し、植生、集落のパターン、料理の伝統、食べ物を加工する道具などを調査し、学際的なアプローチを用いました。

噴火前、種子島は常緑樹林で覆われ、集落は大規模で、多種多様な道具が発見されました。これは住民が陸地、沿岸、川の資源を利用していたことを示唆しています。しかし、噴火により島の動植物と住民は絶滅し、一帯は灰に覆われた荒地となり、何世紀にもわたって無人のままでした。

数百年後に再び島に定住した人々は、厳しい草原環境に直面しました。集落は小規模で一時的なものとなり、使用していた道具から、他の動植物よりも回復の早い海洋資源や塊茎を利用する食生活に変わったことが分かります。種子島の人口は喜界アカホヤ噴火によって壊滅的な打撃を受けましたが、再び定住した人々は依然として縄文文化の一部でありました。

この論文は、災害後の長期にわたる復興過程を考察し、災害以前の状態に変わらずに回復するという単純な「レジリエンス」の枠組みに疑問を投げかけています。実際には、これらの縄文コミュニティは噴火の前後にわたり、絶えず変化し適応し続け、新しい生活様式を発展させていたことが示されています。

【受賞者のコメント】

私たちはこの国際的な賞を受賞できたことに驚き、感激し、そして大変光栄に思います。これはまさにチームの努力の賜物であり、スウェーデンと日本の研究者や機関が協力した成果です。実際、この論文は私たちのプロジェクトの最初の主要な研究成果で、概念実証研究であり、私たちが取り組んでいた新しいアイデアを探求するものです。

お問い合わせ先

北海道大学国際連携研究教育局 教授 ピーター・ジョーダン

メール peter.jordan@ark.lu.se

U R L <https://gi-core.oia.hokudai.ac.jp/gsi/>

*英語対応のみ

北海道大学国際連携研究教育局先住民・文化的多様性研究グローバルステーション

T E L 011-706-7324 メール gsi@oia.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp